

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 7年 1月 8日

協議会名: 群馬県地域公共交通活性化協議会生活交通分科会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
(株)上信観光バス 前橋駅～高崎駅	前橋駅～京目～高崎駅の運行 車輛減価償却費等国庫補助適用	高崎駅バス案内所、前橋駅バス案内所に時刻表を配布し利用促進を促した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	輸送人員(目標):102,421人 輸送人員(実績):140,502人 輸送人員は上記の通りであり、目標を達成できた。	各バス案内所を活用し沿線住民に時刻表の配布を継続して行う。 また、ダイヤ改正によって、輸送人員が増加したので乗降調査を行い、ダイヤ改正の可否を検討したいと考える。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・ICカードの利用データ等により利用者動向を把握し、関係機関と連携した利用者促進策及び利便性向上策の実施について評価する。引き続き生産性向上の取組の実施を期待する。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、他の交通機関の状況を踏まえさらなる連携を図り、地域全体で引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者にとって使いやすい地域公共交通が確保維持されることを期待する。				

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
関越交通(株) 高崎駅～渋川駅	高崎駅～イオンモール高崎前・群馬温泉～渋川駅の 運行 車両減価償却費等国庫補助適用	・高崎市・吉岡町・渋川市の協力で広報に時刻表を折り込み、沿線世帯へ配布。(令和6年3月実施) ・IC乗車券、IC定期券、スマホ定期券についてはチラシ、配布時刻表内および車内ポスター等によるPRを実施。 ・ICカードのODデータを参考に運行ダイヤの見直(減回)を行った。(令和6年10月(土日祝)、12月(平日))	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 輸送人員(目標):172,112人 輸送人員(実績):215,070人 目標を達成した。	・引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める。 ・金額式IC定期券、スマホ定期券については、両者の長所をアピールしたチラシを作成し配布、またHPやSNS等を活用した若年層向けのPRも行っていく。 ・平日18時台の福島～大八木町付近の道路渋滞による遅延が見られることから、今後搭載予定のGPSデータ等を用いて実態把握に努めたい。 ・イオンモール高崎付近の道路拡張に伴い効率的な運行を目的に路線の付替を検討する
関越交通(株) 高崎駅～群馬温泉	高崎駅～イオンモール高崎前～群馬温泉の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	・高崎市・吉岡町・渋川市の協力で広報に時刻表を折り込み、沿線世帯へ配布。(令和6年3月実施) ・IC乗車券、IC定期券、スマホ定期券についてはチラシ、配布時刻表内および車内ポスター等によるPRを実施。 ・ICカードのODデータを参考に運行ダイヤの見直(減回)を行った。(令和6年10月(土日祝)、12月(平日))	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 輸送人員(目標):93,769人 輸送人員(実績):130,983人 目標を達成した。	・引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める。 ・金額式IC定期券、スマホ定期券については、両者の長所をアピールしたチラシを作成し配布、またHPやSNS等を活用した若年層向けのPRも行っていく。 ・平日18時台の福島～大八木町付近の道路渋滞による遅延が見られることから、今後搭載予定のGPSデータ等を用いて実態把握に努めたい。 ・イオンモール高崎付近の道路拡張に伴い効率的な運行を目的に路線の付替を検討する
関越交通(株) けやきウォーク前橋～富士見温泉	けやきウォーク前橋～前橋駅・中央前橋駅～富士見温泉の運行	・前橋市北代田町・上細井町・下細井町・富士見町時沢・富士見町小暮・富士見町皆沢地区に時刻表を新聞折り込み、沿線世帯へ配布。(令和6年3月実施) ・IC乗車券、IC定期券、スマホ定期券についてはチラシ、配布時刻表内および車内ポスター等によるPRを実施。 ・ICカードのODデータを参考に運行ダイヤの見直し(改善基準告知は正に伴う減回)を行った。(令和6年4月)	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 輸送人員(目標):92,234人 輸送人員(実績):106,225人 目標を達成した。	・引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める。 ・金額式IC定期券、スマホ定期券については、両者の長所をアピールしたチラシを作成し配布、またHPやSNS等を活用した若年層向けのPRも行っていく。
関越交通(株) 沼田駅～群大病院	沼田駅～関越自動車道～群大病院の運行	・沼田市・みなかみ町・片品村の協力で広報に時刻表(猿ヶ京線・鎌田線共用)を折り込み、沿線世帯へ配布。(令和6年3月実施) ・令和6年6月改正に合わせ時刻表のチラシを作成し、沼田市内2か所の教習所及び群大病院内売店に設置した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 輸送人員(目標):12,635人 輸送人員(実績):11,290人 令和6年6月の運行回数減回に伴い目標達成には至らなかった。	・引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める。 ・自家用車とのアドバンテージを模索し、チラシ、HP、SNS等を活用してアピールして利用者を促進していく。 ・輸送量が15人を下回っており補助対象外となることから、沼田市と路線維持について継続協議を行う。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
関越交通(株) 沼田市保健福祉センター前～猿ヶ京	沼田保健福祉センター前～沼田駅・後閑駅・上毛高 原駅・たぐみの里～猿ヶ京の運行	・沼田市・みなかみ町の協力で広報に時刻表を折り込み、沿線世帯へ配布。(令和6年3月実施) ・IC乗車券・スマホ定期券についてはチラシ、配布時刻表内および車内ポスター等によるPRを実施。(スマホ定期券は令和5年4月より実施) ・ICカードのODデータを参考に運行ダイヤの見直し(減回)を行った。(令和6年6月、12月)	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 輸送人員(目標): 65,901人 輸送人員(実績): 85,903人 目標を達成した。	・引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める。 ・今後もIC乗車券、スマホ定期券などをチラシ、HP、SNS等を利用して推進していく。 ・路線維持に向けた協議を関係自治体と行う
関越交通(株) 沼田駅～尾瀬戸倉	沼田駅～老神温泉・鎌田～尾瀬戸倉の運行	・沼田市・片品村の協力で広報に時刻表を折り込み、沿線世帯へ配布(令和6年4月実施) ・IC乗車券についてはチラシ、配布時刻表内および車内ポスター等によるPRを実施。スマホ定期券はチラシおよび車内ポスターにてPRを行った。 ・客貨混載については増収傾向にある。 ・ICカードのODデータによる見直しは利用状況を見ながら検討していく。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 輸送人員(目標): 56,486人 輸送人員(実績): 57,507人 目標を達成した。	・引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める。 ・今後もIC乗車券、スマホ定期券などをチラシ、HP、SNS等を利用して推進していく ・客貨混載事業に関しては引き続き継続する。 ・地域内フィーダー系統(めまぐる区域運行)との結節ポイント整備に向けて関係自治体と検討する。
関越交通(株) 沼田駅～鎌田	沼田駅～鎌田の運行	・沼田市・片品村の協力で広報に時刻表を折り込み、沿線世帯へ配布(令和6年4月実施) ・IC乗車券についてはチラシ、配布時刻表内および車内ポスター等によるPRを実施。スマホ定期券はチラシおよび車内ポスターにてPRを行った。 ・客貨混載については増収傾向にある。 ・ICカードのODデータによる見直しは利用状況を見ながら検討していく。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 輸送人員(目標): 30,980人 輸送人員(実績): 29,653人 運送収入は増となったが、輸送人員については目標達成には至らなかった。	・引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める。 ・今後もIC乗車券、スマホ定期券などをチラシ、HP、SNS等を利用して推進していく ・客貨混載事業に関しては引き続き継続する。 ・地域内フィーダー系統(めまぐる区域運行)との結節ポイント整備に向けて関係自治体と検討する。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・ICカードの利用データ等により利用者動向を把握し、関係機関と連携した利用者促進策及び利便性向上策の実施について評価する。引き続き生産性向上の取組の実施を期待する。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、他の交通機関の状況を踏まえさらなる連携を図り、地域全体で引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者にとって使いやすい地域公共交通が確保維持されることを期待する。				

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
(株)群馬バス 高崎～室田	高崎駅～里見～室田営業所の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	高崎市住民に時刻表の配布を行うとともに、各自治体の公共施設や沿線高校等に時刻表を設置し、利用促進を図った。交通系ICカードが徐々に普及し好評を得ている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 輸送人員(目標):85,267人 輸送人員(実績):72,314人 運転者不足の中、改善基準告示改正があり、やむを得ず終発便を繰り上げたため遠距離利用者が減少し目標に達しなかった。	引続き沿線線に時刻表を配布し、適切な運行を行う。同時にIC機器を導入しているため、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。特にバスと鉄道を利用する方には便利なので特にアピールを行う。また、運転者が確保できれば増便を検討したい。
(株)群馬バス 高崎～榛名湖	高崎駅～本郷～榛名湖の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	高崎市住民に時刻表の配布をおこなうとともに、各自治体の公共施設や高崎経済大学等に時刻表を設置し、利用促進を図った。また、交通系ICカードが普及し、好評を得ている。	A 冬季は積雪による路面凍結のため運行できない区間があったが、事業は適切に実施された。	B 輸送人員(目標):123,126人 輸送人員(実績):105,230人 運送収入は若干増となったが、輸送人員については目標を達成することができなかった。	引続き沿線線に時刻表を配布し、適切な運行を行う。同時にIC機器を導入しているため、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。特にバスと鉄道を利用する方には便利なので特にアピールを行う。また、運転手が確保できれば増便を検討したい。
(株)群馬バス 高崎～榛東村役場	高崎駅～上郊～榛東村役場の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	高崎市・榛東村住民に時刻表の配布を行うとともに、各自治体の公共施設等に時刻表を設置し、利用促進を図った。また、沿線施設である相馬原自衛隊の隊員の利用も好調である。また、交通系ICカード導入が普及し好評を得ている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 輸送人員(目標):35,561人 輸送人員(実績):47,257人 上記のとおり、当系統は輸送人員も収支率ともに向上しているので適切な運行を行う。	引続き、沿線住民は勿論のこと、相馬原自衛隊の若い隊員向けに継続的に時刻表を配布する。同時にIC機器を導入しているため、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。特にバスと鉄道を利用する方には便利なので併せてアピールを行う。
(株)群馬バス 高崎～伊香保	高崎駅～水沢～伊香保案内所の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	高崎市住民に時刻表の配布をおこない利用促進を図った。また、交通系ICカードが普及し好評を得ている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 輸送人員(目標):51,774人 輸送人員(実績):86,128人 上記のとおり、当系統は輸送人員も収支率ともに向上しているので適切な運行を行う。	引続き、高崎駅から伊香保間を乗換無しで行けることをアピールしていきたい。同時にICカード導入しているため、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。特にバスと鉄道を利用する方には便利なので特にアピールを行う。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
(株)群馬バス 高崎～南陽台	高崎駅～農大二高・吉井物産センター～南陽台の運行	引続き、南陽台から旧吉井町へ運行する自家用有償(よいバス)と乗り継ぎ割引を引続き実施し、利便性の確保を行っている。また、2つの高齢化している住宅団地の住民の買い物の足として重要な役割を現在も果たしている。また、交通系ICカードが普及し好評を得ている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 輸送人員(目標):58,491人 輸送人員(実績):77,518人 上記のとおり、当系統は輸送人員も収支率ともに向上しているので適切な運行を行う。	当系統は南陽台・城山団地という70～80年代頃に開発された丘陵地帯上にある住宅団地と高崎市街地を結んでいる。高齢者の買い物の足としての役割が強い。引続き高崎市と協力してアピールしていきたい。またIC機器を導入しているため、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。特にバスと鉄道を利用する方には便利なので併せてアピールを行う。
(株)群馬バス 高崎～権田	高崎駅～里見・室田～権田の運行	高崎市住民に時刻表の配布を行うとともに、各自治体の公共施設や沿線高校等に時刻表を設置し、利用促進を図った。ICカード導入が完了し好評を得ている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 輸送人員(目標):52,749人 輸送人員(実績):64,849人 上記のとおり、当系統は学生輸送が微増し、輸送人員も収支率ともに向上しているので適切な運行を行う。	引続き、沿線圏に時刻表を配布し、適切な運行を行う。IC機器を導入しているので、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。
(株)群馬バス 高崎～室田	高崎駅～本郷～室田営業所の運行	高崎市住民に時刻表の配布を行うとともに、各自治体の公共施設や沿線高校等に時刻表を設置し、利用促進を図った。ICカード導入が完了し好評を得ている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 輸送人員(目標):93,687人 輸送人員(実績):118,375人 上記のとおり、当系統は学生輸送が好調で、輸送人員も収支率ともに向上しているので適切な運行を行う。	引続き沿線圏に時刻表を配布し、適切な運行を行う。同時にIC機器を導入しているので、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。特にバスと鉄道を利用する方には便利なので特にアピールを行う。
(株)群馬バス 高崎～箕郷	高崎駅～浜川～箕郷営業所の運行	高崎市住民に時刻表の配布を行うとともに、各自治体の公共施設や沿線高校等に時刻表を設置し、利用促進を図った。ICカード導入が完了し好評を得ている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 輸送人員(目標):129,281人 輸送人員(実績):115,664人 運転者不足の中、改善基準告示改正があり、やむを得ず終発便を繰り上げたため遠距離利用者が減少し目標に達しなかった。	引続き沿線圏に時刻表を配布し、適切な運行を行う。同時にIC機器を導入しているので、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。特にバスと鉄道を利用する方には便利なので特にアピールを行う。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・ICカードの利用データ等により利用者動向を把握し、関係機関と連携した利用者促進策及び利便性向上策の実施について評価する。引き続き生産性向上の取組の実施を期待する。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、他の交通機関の状況を踏まえさらなる連携を図り、地域全体で引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者にとって使いやすい地域公共交通が確保維持されることを期待する。				

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
群馬中央バス株式会社 前橋駅～高崎駅	前橋駅～芝塚～高崎駅の運行	・ICカードの利用促進に関するPRを随時実施した。 ・小学生及び高齢者に対するバスの乗り方教室を実施し、利用促進を図った。 ・オープンデータを自社整備して分かりやすい路線情報を提供した。 ・バスロケーションシステムの継続により随時運行状況の配信を行った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	輸送人員(目標):120,399人 1%の収支改善目標として年間1,900人増を目標 A 輸送人員(実績):125,208人 輸送人員は上記の通りであり、目標を達成できた。	・ICカードの利用拡大に向けて路線沿線施設にPRを行う(継続)。 ・オープンデータの自社整備及び情報発信を行う(継続)。 ・オリジナルのバスロケの製作を行い、位置情報を簡易に取れるシステムを構築する。 ・運転者不足の対応として、積極的な求人活動を行い、運転者の増員をすることにより効率的なダイヤ作成を目指す。
群馬中央バス株式会社 高崎駅～県立女子大学	高崎駅～上滝・玉村～県立女子大学の運行	・ICカードの利用促進に関するPRを随時実施した。 ・小学生及び高齢者に対するバスの乗り方教室を実施し、利用促進を図った。 ・オープンデータの自社整備して分かりやすい路線情報を提供した。 ・県立女子大学と打合せして、授業及び各種試験、オープンキャンパス等に合わせた運行を実施した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	輸送人員(目標):41,959人 1%の収支改善目標として年間700人増を目標 A 輸送人員(実績):44,466人 輸送人員は上記の通りであり、目標を達成できた。	・ICカードの利用拡大に向けて路線沿線施設にPRを行う(継続)。 ・オープンデータの自社整備及び情報発信を行う(継続)。 ・オリジナルのバスロケの製作を行い、位置情報を簡易に取れるシステムを構築する。 ・運転者不足の対応として、積極的な求人活動を行い、運転者の増員をすることにより効率的なダイヤ作成を目指す。 ・県立女子大学及び沿線の学校等と連携して通学需要の利便性向上を目指す。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・ICカードの利用データ等により利用者動向を把握し、関係機関と連携した利用者促進策及び利便性向上策の実施について評価する。引き続き生産性向上の取組の実施を期待する。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、他の交通機関の状況を踏まえさらなる連携を図り、地域全体で引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者にとって使いやすい地域公共交通が確保維持されることを期待する。				

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
永井運輸(株) 前橋公園～玉村町役場	前橋公園～前橋駅～玉村町役場の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	列車接続に対応していたダイヤであったため、ダイヤ調整は実施しなかった。 下川淵公民館及びベシニアみなみモールへ配布時刻表を用意し、ご入用のお客様へ配布をお願いした。 引き続き「前橋工科大21回数券」を作成し発売を行った。 GTFSデータの作成及び提供を継続。 バスロケーションシステムの継続実施。 旅客への情報提供として前橋工科大学に「発車案内デジタルサイネージ」を設置中。 Xでの運行情報送信を継続実施。 前橋工科大学で行われる授業に参加させていただき学生とディスカッションをおこなった。 地域連携ICカード「nolbé」導入により、旅客からの運賃収受が確実になり、乗務員の運賃取扱いが省力化できた。また系統別利用実態の集計が迅速にでき、デジタイゼーションが確立できた。	A	計画通り事業は適切に実施された。	輸送人員(目標):65,000人 輸送人員(実績):77,557人 輸送人員は上記の通りであり目標を達成した。	駅での鉄道接続を円滑にするため、必要に応じダイヤ調整を行う。 沿線の公民館や商業施設に時刻表を置かせてもらえるようお願いし、利用促進に向けた努力を行う。 引き続き、「前橋工科大21回数券」を作成し、大学生のバス利用が減少する時期の利用促進を行う。 GTFSデータ提供を継続し、データ鮮度の維持をはかる。 バスロケーションシステムの実施やXなどでの運行情報送信など、旅客への高度な情報提供を継続。 依頼に応じて「バスの乗り方教室」やバス業界への興味関心を惹きつけるための啓発など、子供だけでなく大人や高齢者の方についてもバスに馴染んでいただける機会づくりに積極的に取り組む。 地域連携ICカード「nolbé」導入で、乗降データの可視化やデータ活用を行いたい。
永井運輸(株) 玉村町役場～新町駅	玉村町役場～県立女子大学～新町駅の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	21:05新町発最終便を16:52役場発・17:30新町駅発に変更して帰宅ピーク時間の輸送を強化した。 玉村町役場へ配布時刻表を用意し、ご入用のお客様へ配布をお願いした。 GTFSデータの作成及び提供を継続。 バスロケーションシステムの継続実施。 旅客への情報提供として県立女子大学に「発車案内デジタルサイネージ」を設置中。 群馬県バス協会主催の「バスの乗り方教室」を玉村南小学校他3箇所、また玉村町主催の文化センターまつりでも実施した。バスに馴染んでいただける機会づくりに積極的に取り組んだ。 Xでの運行情報送信を継続実施。 地域連携ICカード「nolbé」導入により、旅客からの運賃収受が確実になり、乗務員の運賃取扱いが省力化できた。また系統別利用実態の集計が迅速にでき、デジタイゼーションが確立できた。	A	計画通り事業は適切に実施された。	輸送人員(目標):38,000人 輸送人員(実績):51,652人 輸送人員は上記の通りであり目標を達成した。	駅での鉄道接続を円滑にするため、必要に応じダイヤ調整を行う。 沿線の公民館や大学、商業施設に時刻表を置かせてもらえるようお願いし、利用促進に向けた努力を行う。 GTFSデータ提供を継続し、データ鮮度の維持をはかる。 バスロケーションシステムの実施やXなどでの運行情報送信など、旅客への高度な情報提供を継続。 依頼に応じて「バスの乗り方教室」やバス業界への興味関心を惹きつけるための啓発など、子供だけでなく大人や高齢者の方についてもバスに馴染んでいただける機会づくりに積極的に取り組む。 地域連携ICカード「nolbé」導入で、乗降データの可視化やデータ活用を行いたい。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・ICカードの利用データ等により利用者動向を把握し、関係機関と連携した利用者促進策及び利便性向上策の実施について評価する。引き続き生産性向上の取組の実施を期待する。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、他の交通機関の状況を踏まえさらなる連携を図り、地域全体で引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者にとって使いやすい地域公共交通が確保維持されることを期待する。					

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
日本中央バス(株) 前橋駅～富士見公民館	前橋駅～田島十字路～富士見公民館の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	路線開設当初より、富士見温泉・富士見公民館への時刻表の設置、時刻表への「自転車積載可能」を表示し、周知を図っており、随時補充をしている。 バスロケ情報をオープンデータ化し、Googleマップへのリアルタイム遅延情報の掲載によりお客様の利便性向上を図っている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 輸送人員(目標):54,075人 輸送人員(実績):71,053人 新型コロナウイルスの影響緩和により、主に外国人実習生等の利用が予想以上に増加し、目標を大きく超えて達成した。	ICカードのODデータの活用により、路線動向の分析を図る。 また、富士見地区のデマンドバスとの組み合わせを見据えた運行についての最適化を令和6年4月より行った。 引き続き、利用者の増加に向けたにに向けた方策並びに安心してご利用頂ける方策について前橋市と共に検討を行い、実行可能なものから実行する。
日本中央バス(株) 前橋駅～八幡橋	前橋駅～前橋西高校～八幡橋の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	路線開設当初よりしんとう温泉・榛東村役場への時刻表の設置、時刻表への「自転車積載可能」を表示し、周知を図っており、随時補充をしている。 バスロケ情報をオープンデータ化し、Googleマップへのリアルタイム遅延情報の掲載によりお客様の利便性向上を図っている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 輸送人員(目標):65,573人 輸送人員(実績):92,491人 新型コロナウイルスの影響緩和により、主に外国人実習生等の利用が予想以上に増加し、目標を大きく超えて達成した。	前橋都心部において、独占禁止法上の例外措置による共同経営を行い利便性の向上を図ったので、利用者への周知を図ってゆく。また、ICカードのODデータの活用により、路線動向の分析を図る。 引き続き、利用者の増加に向けた方策並びに安心してご利用頂ける方策について前橋市・榛東村と検討を行い、実行可能なものから実行する。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・ICカードの利用データ等により利用者動向を把握し、関係機関と連携した利用者促進策及び利便性向上策の実施について評価する。引き続き生産性向上の取組の実施を期待する。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、他の交通機関の状況を踏まえさらなる連携を図り、地域全体で引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者にとって使いやすい地域公共交通が確保維持されることを期待する。				

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
朝日自動車(株) 本庄駅南口～神泉総合支所	〔起点〕 本庄駅南口 〔主な経由地〕 小島南・沖電気前 〔終点〕 神泉総合支所	①令和5年9月～10月と令和6年3月～4月の共通学生フリーパス販売時期に合わせ沿線学校や、自社ホームページ及びバス車内で周知し、販売促進を図った。 ②神泉総合支所移設に伴い、令和5年4月より路線を延伸した。 ③沿線施設との企画乗車券導入に向けての検討は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し見送った。	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の事業が計画に位置づけられたとおり実施することができなかった。	A 輸送人員目標151,749人に対して実績は182,618人となり目標達成となった。 達成理由として、新型コロナウイルス感染症により減少していた利用者が回復基調であると考えられる。	・引き続き共通学生フリーパスの販売促進を図る。 ・路線延伸を継続し、接続する町営バスとのシナジー効果を狙う。 ・沿線施設との企画乗車券を検討し観光需要を取込む。 ・引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施し安心して利用できるバス車内の環境保持に努める。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・共通学生フリーパスの販売促進の実施、路線延伸の検討など利用促進策の実施について評価する。引き続き生産性向上の取組の実施を期待する。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、他の交通機関の状況を踏まえさらなる連携を図り、地域全体で引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者にとって使いやすい地域公共交通が確保維持されることを期待する。					
第三者評価委員会における各 委員からの意見	令和6年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しく今が転換期。 ○鉄道など他の交通モードと情報共有を図り、データに基づいた具体的な目標・成果・課題を明らかにし、関係機関と連携のうえ地域全体で検討することが重要。 ○データの基礎となる基本情報は、応用可能なデジタル化にシフトすることを期待する。					